

平成29年（2017年）

WES 通信 10月号

定価250円

今月号のトピックス

- ◎ 中学生「中間テスト対策」
（10月9日（月）～17日（火））
- ◎ 「受験プレミア」開始～
- ◎ 小6生「中学準備英語」開始～
- ◎ WILLの先生紹介
「熱血指導」の“池田先生”の巻～♪
- ◎ WILLの卒業生来塾



- ◎ WILLの卒業生たち～第4回N.Eさん～
- ◎ 塾長コラム～「目標って何？」～
- ◎ 10・11月イベント
中学生「ピカ中」実施～！
中3生実力テスト対策（11/3～5）他
- ◎ 10月・11月の予定
予定表は必ずチェックしてね！

堺で生まれて23年、子どもたちの未来を育む — 1クラス6名の超少人数制学習塾

WILL 教育ゼミ

堺市北区東雲東町1-6-23宝永ビル2F

TEL:072-254-9988・FAX:072-254-9998

e-mail: willzemi@themis.ocn.ne.jp

中学生「中間テスト対策」イベント

2学期「輝け！中間テストで」やりま～す！！



(略称“ピカ中”)

—— 10月9日(月)～10月17日(火) ——

中学生の皆さん、いよいよお待ちかね(?)の中間テストがやってきます。

この夏休み、そして2学期になってから頑張った成果を、精一杯発揮して、自分で納得する結果を出しましょう。

特に中3生にとって2学期のテストは特に重要。
内申点のベースを作るんです。

結果を出すためにも、今まで以上に早めに準備をし、悔いのないようにしてください。

**“輝け！中間テストで”(略して“ピカ中”)実施**

さて、今回の中間テストにおいても“ぶっ期末”と同様、特別のテスト対策を行います。
(詳細は「中間テスト対策のご案内」を読んでくださいね)

対策授業に参加する前に、お伝えしたいことがあります。
それは、「**目標を決める**」ことです。

しかし、ただ、**目標をやみくもに設定したところで、それは“絵に描いた餅”。**
「なぜ、その目標を達成したいのか？」を必ず明確にしておいてください。

大切なのは、あなたが目標を達成しなければならないことの必然性は何かということです。

それが無いのに、目標目標と叫んでみたところで、
目標が実現することなんてないんです。

(例) 将来医者になりたいので、高校は三国ヶ丘高校に進学する。
そのためには、今回のテストでは最低でも450点以上とることを目標とする。





次に、「その目標達成のために、自分がすべきこと」を明確にすることです。

やらなければならないこともせず、ただ「〇〇点取りたい」と言ったところで、できるわけがありません。

「じゃあ、何をやればいいのか？」という人もいるかもしれませんね。

まず、学校で使っている教科書・ノートを読んで、ワークや白プリをやりきることが先決。学校の教材をしっかり反復し、必ずできるようになってください。

学校のテストなんですから、基本はまず学校の教材やノート。その上で塾が提供する教材なんです。

特に、1学期期末テストで思うように点数が取れなかった人たちは、上記のことに注意をして、今回のテストに臨みましょう。



まとめておきます。

1. 目標を決める。（なぜその目標を達成したいのかを明確にすること）
2. 目標達成のために、自分がやらなければならないことを明確にすること。
3. テスト対策が始まるまでに、学校に提出するワーク類はほぼ終えておくこと。

1学期の期末テストでは、その点が比較的明確だった中3生の成績の伸びが顕著でした。

- ・成績アップした生徒…96.7%
- ・400点以上獲得者…54.8%
- ・自己最高得点更新者…25.8%

中1生、中2生もみんながんばりましょうね。（もちろん中3生もね）

そして、生徒の皆さん全員が、中間テスト終了後に、「『ピカ中』に参加してよかった。」と言えるようにしましょう。



WILL 教育ゼミは、先生たちも一丸となって、皆さんの頑張りに応えられるよう、全力でサポートしていきます。

“ピカ中”への生徒全員の参加をお待ちしています。

1学期 “ぶっ期末” アンケート結果報告

次に1学期 “ぶっ期末” 参加者のアンケート結果を報告しておきます。

◎ 「ぶっ期末」に参加してみようでしたか？

	とてもよかった	まあまあよかった	あまりよくなかった	よくなかった
中1生(25名)	92%	8%	0%	0%
中2生(28名)	75%	25%	0%	0%
中3生(31名)	74.2%	16.1%	3%	0%
	※「すばらしい」			3.2%

◎ 次回のテスト対策も「ぶっ期末」と同じような形で行うとしたら、参加したいですか？

	絶対参加したい	出来れば参加したい	あまり参加したくない	参加したくない
中1生(25名)	84%	16%	0%	0%
中2生(28名)	75%	21.4%	3.6%	0%
中3生(31名)	80.6%	12.9%	3.2%	0%
	※「どちらでもよい」			3.2%

正直言って、このアンケート結果には驚いています。

あれだけの長時間の「テスト対策」を実施して、みんながこのように考えてくれていたということを知って、先生たちも本当にうれしかったんです。



だから、今度対策を実施するときは
「もっと、こんなことをしたい」
「絶対に一人残らず成績アップにつなげたい」
という強い思いもさらに増してきました。

そして、今回の「ピカ中」では、前回よりもさらにバージョンアップした内容を企画しています。

ただ、いくら先生たちが頑張っても、やるのは君たち自身なんです。

最後は“やる気”をもって全力で中間テスト対策に臨みましょう。
そして、一人残らず、全員が、自分で納得できる結果をだしましょうね。



受験対策イベント

「受験プレミア」開講【9月13日（水）～】

9月13日（水）からいよいよ「受験プレミア」が開講しました。

今年度も受講率がすごいです。受講率93.5%。
しかも、ほとんどの生徒が全教科受講です。



WILLでは中3生は全員5科目必修で、通常授業の時間数も多いんです。その上での「受験プレミア」受講ですから、勉強時間が半端ではありません。



ところが9月以降、実力テストが終わっても、中3生の自習室利用が絶えないんです。自習室は連日満杯。

学校が終わったら、その足で塾に来て勉強している生徒の姿も。そして、先生への質問責め。

中3生の自習室利用はWILLの伝統です。そして、先輩たちは次々と奇跡といわれる合格を勝ち取ってくれました。

みんなのその頑張りも、絶対に結果として出せるようにしたいものですね。



でも、受験生の皆さん、勘違いしないでください。受験プレミアを受講すれば成績が上がる、自習室を利用すれば成績が上がる、ということではないんですよ。しっかりと、目標をもち、計画を立てて勉強するからこそ学力も上がってくるのです。

まだ志望校が決まらない生徒の皆さん、いろんな情報を集め、ご両親や先生と相談しながら決して悔いのない選択をしましょう。

ただ、高校を見に行っても「楽しそうだったから」とか、「友達が行くから」などという、とんでもなくいい加減な志望校決定は、絶対にやめてください。決してかなうことはありません。合格しても、中退する可能性もたくさんあります。

本気で高校を選び、なぜその高校でなければいけないのかをしっかりと考えてから、志望校を決定してください。それが、今後の学力アップに100%影響するのです。決してそのことを忘れないでくださいね。

～小6生の「中学準備英語」開講～

「ハロ～、エヴリワン」

「ハロ～、ミスター・カミオ」

「ハウ、アー、ユー？」……。



小6生の「中学準備英語」が始まりました。

教室から小6生の元気な英語の声が聞こえてくると、WILLでは秋を感じます。まずはあいさつから。そしてアルファベットの練習。教室から、楽しそうな生徒の様子が伝わってきます。



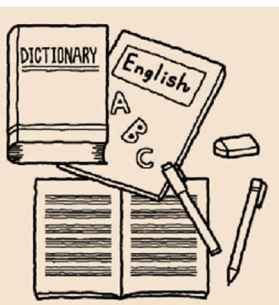
さて、中学準備英語で最も大切なことはなんでしょうか？

それは、子どもたちに英語を“楽しい”と感じてもらうこと。楽しくなければ、英語に対して興味を抱かず、中学校に入っからの、勉強に対する取り組み方に大きく影響します。

ですから、WILLではまず“楽しい”と感じてもらうことから始まるんです。

でも、それだけでは絶対にダメなんです。

中学校に入ると、“書く”ことが最も重視されるからです。



中学校英語も、年々、“話す”“聞く”という英語の学習本来の姿に移行しつつあるのは事実ですが、テストは“書く”ことが中心にならざるを得ないんです。

WILLの中学準備英語では、まず英語を“話す”“聞く”ことから始まり、子どもたちに英語の楽しさを感じてもらいます。そのうえで“書く”ことにも慣れてもらうように指導します。

小6生の皆さん、今やっていることが、きっと中学校の英語の授業で生きてきますからね。しっかりと授業を受けて、いっぱい英語を話して、聞いて、書いてください。そして、英語に慣れていってくださいね。

(WILLの先生紹介)

～ 「熱血指導」 (?) の “池田先生” の巻～ ♪ ～

今月は「熱血指導」 (?) の “池田先生” のご紹介です。

池田先生と言えば「熱血指導」。指導が厳しいんです。でも、まったく怖くないんですよ～(´艸`)

生徒たちに少しでもわかりやすい授業をしようと、とにかく授業準備に人一倍余念がありません。いつも机の前で教材、パソコンを開いて、授業準備をしています。



一見強面(コワモテ)?でも、実はと～っても優しいんです。

しかも、一番生徒思いの先生なんですよ～。

授業が終わった反省会では、いつも一人一人の名前を挙げながら、こと細かに報告をしてくれます。生徒全員の成績が上がってほしいという思いは誰よりも強いんです。

学生時代はラグビー、テニスなどをやり、スポーツが大好きな根っからの体育会系。

WILLへ来てまだ半年なんですけど、実は指導歴10年のベテランの先生なんです。

そんな池田先生から、皆さんに一言いただきました。



ときには、オチャメなこんな一面も・・・。

どうも、みなさん、こんにちは！WILL教育ゼミに来て、半年になりました、池田です。まずは、自己紹介ですね。ハムスターを飼っています🐹(名前は、よしお。オス。1歳半)趣味は、通勤時間の読書(特に、西加奈子さん)、料理、ソフトテニス、ダーツ、野球観戦(特に、阪神タイガース)等々…。最近はスペアミントの栽培も始めました。興味があると、すぐにとりかかってしまう好奇心旺盛で多趣味な31歳です。チャームポイントは歯並びです。

自分の中学生時代…16～18年前のことなので、全然思い出せません(笑)が、みなさんのように、熱心に塾に通って勉強をしたことがないことは確実です。なんとな～く、やり過ぎてきた感じでした。なので、今の心境を書いていきます。

僕が好きな名言があります。「ねだるな、勝ち取れ。さすれば与えられん。」某アニメで出てくる言葉なのですが、本当にその通りだなあ、と思います。他人任せではなく、自分の力で夢をつかみ取ろうと努力している、こんなにも熱心に勉強する生徒のみなさんの姿を見て、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。そして、自分の中学生時代を反省しております。

さきほども書きましたが、WILLに来てさせて頂いて半年間。短い(?)期間ですが、WILLがとても好きになりました。これからも、WILLでみなさんが夢や目標をつかみ取ることができるよう、全力でサポートさせていただきますので、よろしくお願いします。

(来月は本田先生の予定です。)

(卒業生 来塾)

9月もたくさんの卒業生が来塾してくれました。

まずは久しぶりの来塾のT.MさんとT.Aさん。

授業終了後に二人で来てくれました。

来塾して私の顔を見るなり、

「せんせ～！！ひっさしぶり～」というなり、飛びついてきました(´艸`)



底抜けの明るさは相変わらず。

T.MさんとT.Aさん。

小学生のころから通塾し、とにかく明るかった二人。久しぶりの来塾に本当に感激しました。卒業してもう6年もたつんですね。



T.Mさんは泉陽高校を卒業し、今はD大学でマーケティングを専攻。来年から就活が始まるそうです。以前よりすっかりお姉さんらしくきれいになったT.Mさん。しっかり勉強して卒業し、希望通りの就職ができるといいですね。



そしてT.Aさん。短大を卒業し今年から保育士さんとして働いているそうです。大変なことも多いけど、とにかく子供たちがかわいくって、とても楽しく働いているそうです。

人一倍明るくって、頑張り屋さんだったT.Aさんのことだから、きっと、いい保育士さんになってくれると思います。

また気が向いたら、いつでも来てくださいね～。

次に、こちらも久しぶりの来塾。N.SさんとF.Yさん。

在塾時から仲良しの二人。N.SさんはS陽高校、F.YさんはM山学院高校のそれぞれ2年生。

進学した高校は異なっても、中学生のころと変わらず仲良しの二人。勉強のほうも順調で、高校生活も充実している様子でした。



「また二人で来ます！」と語ってくれたN.SさんとF.Yさん。

中学生のころと全く変わらない姿に、思わず「本当に高校2年生？」と言ってしまいました(m´・ω´`)m ゴメン…。また来てくださいね。



お土産を持って来塾してくれた、S.R君。

そして、S.R君。いつもお土産を持って来塾してくれます。今回は私の大好きなミスド。最近、ちょくちょく来塾し元気な姿を見せてくれています。

将来のことを真剣に考え、いろいろ相談もしてくれます。

その姿勢がきっといい結論を導いてくれるはず。またいつでも相談に来てくださいね。

その他にもたくさんの卒業生が来てくれました。卒業生の皆さんの顔を見るのは私たちの楽しみの一つです。卒業生の来塾、大歓迎です。

<WILLの卒業生たち> ～第4回 N.Eさん～

「塾長……なんでウチだけこんなアホなん？」

夜もふけ 11 時をすぎていた。他の教師たちも帰途につき、私一人が塾に残っていた時突然の電話が鳴った。声の主は N さんだった。そして第一声が冒頭の言葉である。

N さんが入塾したのは中一の春。時期を同じくして N さんの友人も 5、6 名入塾していた。入塾当初から N さんと友人たちの中で学力の差は歴然としていた。中一の終わりには N さんの成績は 200 点代の半ば。友人たちは 400 点を軽く超えていた。ところが二年生になって奮起した。初めて 400 点を超えたのである。そんな矢先の電話だった。

私 「400 点取っててなんでアホやねん」

N さん「だって塾の友達みんな 450 点くらい取ってるもん」

私 「じゃあ 400 点以下の子みんなアホか？」

N さん「違うねん。ウチはみんなよりいっぱい努力してん。だけど友達は努力せえへんのに、ウチより良い点数やねん。だからウチはアホやねん」

私 「友達、みんな頑張ってると思うか？ほんまに頑張ってるもんは自分が頑張ってるって言わんもんなんやで」

N さん「他の子たちも頑張ってたん？」

私 「おう。頑張ってた。N さんに負けんところと思ってな。N さんが頑張ってるから」

N さん「そうなんや。ちょっと安心した」



それからの N さんはそれまで以上に素直に努力した。三年になり、定期テストで 450 点くらい取れるようにもなっていた。

2 学期に入って間もないころのことだ。塾の中でも人一倍元気だった N さんの表情があまりさえなくなってきたのである。

志望校が決まらなかったのだ。友達が次々と志望校を決めそこに向かって努力していたのに、自分にはその目標が無い事に悩んでいた。

ある日私のところへ、その悩みを打ち明けにきた。

そして、将来の夢なども話してくれた。

(次のページにつづく)

そんな中で、出てきた高校がI高校だった。Nさんの希望を満たし、将来の夢を叶える可能性が高い高校だった。



「ウチ受けて通るの？」

「今はまだ足らんけど、自分がホントに行きたいと思ったら、きっと通るよ」

当時I高校の偏差値は65。ほぼ泉陽高校と同レベル。

偏差値58の彼女にはまだまだ学力が足りていなかった。しかし私は必ず合格してくれると思った。いや、それ以上に彼女の夢を絶対に叶えてほしいと心から願ったのである。

Nさんは母親と共にI高校見学に行き体験授業にも参加した。自分の中では“I高校しかない”とまで思い込んでいた。

ところが、中学校での進路相談では無情にも「志望校を変更しなさい」との指導だった。

実際のところWILLの他の先生からも「塾長、厳しいんじゃないですか？」と何度か言われたこともあった。けれども私の経験と感覚が彼女の合格を信じて疑わなかった。「しっかりとした夢・目標を持つものは本当に強い」ことを知っていたからである。

彼女の頑張りとは、1月度の模試で、偏差値65という成果をもたらした。

そして受験。Nさんもそれなりに手応えを感じている様子であった。

ところが、合格発表の日のことである。次々と合否の結果が寄せられる中、彼女からの連絡は全く無かった。ただひたすら連絡を待ち続けた。

夕刻になり、「ダメだったか……」と私も他の教師たちも表情が曇り落胆していた。

その時である。振り向いた私の目に飛び込んできたのは、母親と共にやってきたNさんの姿だった。涙を浮かべ、

「塾長通った！」と叫びながら、塾の中へ入ってきたのである。

「お前なんで今頃…！もっとはよ連絡せーよ！」

「だって直接塾長に伝えたかってん。合格者の説明会が終わってから直接言おうと思って…」
彼女の言葉を聞きながら私の目からも嬉しさのあまり涙があふれ出てきた。



その後Nさんは高校でも頑張り、難関大学へ進学。そして、現在大手旅行会社に勤めている。仕事は大変だとよくこぼしているそうだ。しかし、Nさんならどんな苦難をも乗り越えてくれると私は確信している。
(ホームページより転載。一部改編)

<塾長コラム> ～「目標って何？」～

久しぶりの塾長コラムです。

今回のテーマは「目標って何？」

皆さんは「定期テストで400点取りたい」というような目標を立てて学習することがよくあります。



でも、どうでしょう。その目標通りになる事ってあまりないんです。たとえ、その目標が達成できたとしても、続かないんです。なぜでしょうか？



「目的」つまり、なぜその目標を達成したいのかという、「理由」がないからです。

たとえば、「400点はなぜ取りたいのか」「どうして400点取らなければならないのか」の理由がないのです。大切なのはその後なんです。

成績を上げる「目的」を明確にすることが大切なんです。

例をあげると「自分は将来大きな会社に勤めて、世界で活躍できる仕事がしたい。だから、いい大学に進学したい。そのためには、泉陽高校以上の高校に入る。そこで2年生のうちに400点以上取れるようにしたい」ということです。

そこには、400点取らなければならない明確な理由があります。だから、頑張れるのです。ただやみくもに「400点取りたいから頑張る。」では、成果が出ないんです。

また、お母さんが「400点取れば〇〇を買ってあげる」など、モノでやる気を出そうとすることもよくあります。でも、結局は取れないし、取ったとしても、その場限りになってしまいます。



目標はゴールではないんです。あくまで自分の目的（ゴールまたは夢と言ってもいいかもしれません）を達成するために必要な通過点なんです。

今まで数多くの生徒をみてきて、「目的、夢」をもってそれを語る生徒ほど頑張った成果がはっきりと出ているんです。

今一度、自分の将来のことについて、真剣に考えてみませんか？

<WILL 教育ゼミ 10・11月のイベント>

1. 中学生「中間テスト対策イベント『ピカ中』」実施

10月9日（月）～17日（火）

※ 詳細は、お送りしています「ピカ中」のご案内をご覧ください。

2. 10月・11月の祝祭日の授業について

10月 9日（月）（体育の日） 塾 通常授業あり（中学生は“ピカ中”予定）

11月 3日（金）（文化の日） 塾 通常授業あり（中3生は実力対策もあります）

11月23日（木）（勤労感謝の日） 塾 通常授業あり（中学生は“ぶっ期末”予定）

3. 中3生実力テスト対策

11月度の実力テストに向けて、下記の日程で「実力テスト対策」を実施します。

11月 3日（金）～5日（日） … 中3生全員

※ 時間など詳細につきましては、直接生徒の皆さんにお伝えいたします。

4. 小学生・中1・中2生「保護者懇談会」の実施について

11月11日（土）・11月12日（日）に小学生・中1・中2生の保護者懇談会を実施いたします。

※詳しい時間帯につきましては、後日、別途ご案内いたします。

5. 毎月のお月謝について

現在、毎月の月謝、諸費用につきましてはすべて月謝袋に入れて納入いただいています。しかし、一部ご父兄の皆様より、以前から「自動振替」または「振込」にしてほしい、とのご要望がございました。

つきましては、12月度より「自動振替」による納入ができますよう、現在準備しているところです。

詳細につきましては、別途ご案内しておりますので、そちらのほうをご覧ください。

月	日	曜	行事予定	月	日	曜	行事予定	
10	1	日	中3三者懇談会・中3生模擬テスト	11	1	水		
	2	月			2	木		
	3	火			3	金	↑ 中3生 実力テスト対策 ↓ (文化の日) 塾授業あり	
	4	水			4	土		
	5	木			5	日	模擬・学力テスト予定(全学年)	
	6	金			6	月		
	7	土			7	火		
	8	日			8	水		
	9	月	(体育の日) 授業あり		9	木		
	10	火	中学生 中間テスト対策 (9日~17日)		10	金	長尾中・浅香山中 11月度実力テスト	
	11	水			11	土	↑ 小学生・中1・中2生 保護者懇談会 ↓	
	12	木			12	日		
	13	金			13	月	五ツ木模試(12日)	
	14	土			14	火		
	15	日		五ツ木模試	15	水		
	16	月		↑ 三国中・五箇荘中 中間テスト ↓		16	木	
	17	火	↑ 長尾中・浅香山中 中間テスト ↓		17	金		
	18	水			18	土		
	19	木			19	日		
	20	金			20	月	中学生 期末テスト対策 (予定)	
	21	土			21	火		
	22	日			22	水		
	23	月			23	木		(勤労感謝の日) 授業あり
	24	火			24	金		
	25	水			25	土		
	26	木			26	日		
	27	金			27	月		
	28	土			28	火		
	29	日			29	水		
	30	月			30	木		
	31	火						



堺で生まれて23年、子どもたちの未来を育む —— 1クラス6名の超少人数制学習塾

WILL 教育ゼミ

堺市北区東雲東町1-6-23宝永ビル2F

Tel 072(254)9988 Fax 072(254)9998

e-mail: willzemi@themis.ocn.ne.jp

HP <http://jukutown.com/will-education/>